

新たな連携強化に向けた取組み

1. 対外的なネットワークの拡充

- 本推進会議構成団体が新たに構築するネットワークを活用し、潜在的な教育機会の掘り起こしと相互連携による活動の拡充に取り組む。

＜今後の連携・協働が期待できるネットワークの例＞

- 日本学生支援機構

- 高校における「巣立ち教育」や専門学校・大学での金融リテラシー講義の拡充を目指す。

- 企業年金連合会

- 中小企業のDC加入者教育の機会を生かした生活設計・資産形成セミナー等の拡充を目指す。

2. 講師育成のための協力体制

- 本推進会議構成団体及びその地方組織における講師のレベルアップや新規育成に向け、団体間で研修機会の相互活用やインストラクターの相互派遣等を開始。来年度も機会を捉えて実施していく。

＜本年度における実施例＞

- 構成団体メンバーによる確定拠出年金制度改正に関する勉強会の開催（講師：運営管理機関連絡協議会）。
- 金融広報中央委員会主催の金融広報アドバイザー向け研修の一部講義で構成団体からの聴講者を受入れ。
- 上記アドバイザー向け研修に運営管理機関連絡協議会から講師を派遣。
- 全国銀行協会主催の講師育成研修に東京都金融広報委員会から金融広報アドバイザーを派遣（予定）。

以 上